

令和3年12月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年12月1日(水) 午後1時30分～午後2時10分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、北日本放送、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、総務部長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 12月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容

- ・12月補正予算のポイントは、①コロナ対策、②コロナ禍の影響への対応、③人件費を含むその他の補正の3つとなる。一般会計補正予算の規模は総額4億5,200万円余り。①コロナ対策は3回目のワクチン接種の経費などに1億4,500万円余り。②コロナ禍の影響への対応は、イベント中止などに伴う対応として4,000万円余り。③人件費を含むその他の補正は、期末手当の減額のほか22事業について補正している。
- ・コロナ禍の影響への対応について説明すると、①イベント中止等に伴う事業費の減額として、東京オリパラ関連（ホストタウン事業中止等）、まるまる魚津、じゃんとこい魚津まつりなどの中止に伴い1億5,000万円余り減額となった。②施設の指定管理者等への支援については、コロナ禍の影響に伴う減収と感染症対策にかかる経費への支援として2,400万円余り。（対象施設は体育施設や魚津総合公園など）③使用料等収入の減収対応は、魚津水族館や埋没林博物館を中心に5,000万円余りとなる。
- ・補正の主な財源としては、国庫支出金の新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金が3,000万円余り、ふるさと寄附金を1億円増額し、その他繰越金から1億3,900万円ほどを充てる。

- ・なお、今年度のこれまでの新型コロナウイルス感染症対策予算は、当初予算から数えて7回目となる。当初予算からこの12月補正までの合計は14億4,700万円ほどの規模となる。

主な事業の説明

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業については、新型コロナウイルスワクチンの3回目の追加接種に向けた体制整備等を行うもの。すでに医療従事者500名分の接種券は発送を完了している。今後は高齢者施設の従事者などへ発送し、12月から接種を開始していく。その他の方については2回目の接種から8カ月が経過した方から順次接種していくこととなる。事業費は9,400万円余り、財源は全額国費からとなる。
- ・小・中学校ICT活用推進事業については、GIGAスクール構想の推進に向けて、市内全小・中学校においてタブレット端末を活用した授業や家庭学習を実施するとともに、新たに電子ドリル及びフィルタリングソフトを導入するもの。電子ドリルは宿題や家庭学習で使用することができ、Wi-Fi環境のない家庭でも使用可能である。フィルタリングソフトは、家庭でのタブレット端末の利用に際し、目的外の使用を防止するためのもの。事業費は2,100万円余り。電子ドリル及びフィルタリングの導入・設定は、令和3年度中に完了の予定。
- ・魚津の宿泊割引事業については、令和2年度から継続的に実施している魚津の宿泊割引事業（魚旅キャンペーン）の実施期間を再延長するもの。今回の資料では割引対象者が富山県在住者となっているが、今日報道があった県の類似割引制度に近県も含め足並みを揃えることになるとと思われる。実施時期は12月末日までとしていたものを年度末の3月末日までに延長する。
- ・公共交通運行維持支援事業は、魚津市の単独事業ではなく、沿線の市町と協調し、県内公共交通事業者に対して支援を行うもの。対象事業者は富山地方鉄道（株）で対象交通機関は鉄道及び市内バス路線（東蔵線、黒沢・大沢線）となる。事業費は1,200万円余り。
- ・映画PRキャンペーン事業については、市内ロケのあった映画の上映に併せて、ロケ地紹介など魚津市をPRするもの。応援する会（北日本新聞社を事務局とする映画PR実行委員会）が実施するマップ・パネル作成展示、新聞掲載などに対して負担金を支出する。総事業費600万円の1/3となる200万円をロケ地所在市（魚津市・高岡市）がロケ地箇所数や露出度を勘案して負担する。今回の魚津市の負担金は120万円。対象の作品は清水崇監督の『牛首村』。公開日は未定。この映画を通じて魚津をしっかりとPRしていきたい。

- ・ふるさと寄附推進事業については、今年度のふるさと寄附の状況が10月末時点で前年比1.6倍で推移していることから、年度当初に設定した見込み額3億円を4億円に補正して、返礼品等の必要経費の予算を確保するもの。返礼品の品数は昨年度の345品から今年度は500品を目指している。
- ・(仮称)魚津市本江地域交流センター建設事業は、昨年から地域の皆さんとご相談しながら進めているこの事業について、国から補助金の増額の内示が出たことにより、受け入れるため準備をするもの。事業費の1億円に対して都市構造再編集集中支援事業補助金(1/2補助)5,000万円を受け入れる。事業スケジュールでは今年度は設計、建築工事は令和4年度に実施のため、全額を次年度へ繰り越す予定。
- ・学校規模適正化事業は、清流小学校の敷地拡張に向けて、隣接地を購入するもの。面積は3,000㎡弱で評価額は5,200万円ほど。建物・立木等があるため、地権者の了解のもと、解体・伐採・整地を所有権移転前に行い、評価見込額から工事請負費(解体等)を差し引いた金額を公有財産購入費とする。令和4年4月に解体・伐採・整地等を行う予定。清流小学校はスクールバスの進入路が大変狭いため、積雪時はスムーズに出入りできない。隣接道路の整備も含めて安全な学校利用につなげていきたい。
- ・市営住宅整備事業については、老朽化が進んでいる廃止予定の市営住宅について、令和3年度から市営住宅の除却費用が国庫補助対象となったことから、住吉市営住宅(全6棟35戸)と小川田市営住宅(全3棟6戸)の除却を進めるもの。
- ・水族館施設整備事業(非常用自家発電機オーバーホール)については、非常用自家発電機が設置から40年経過しており、老朽化により動作が不安定になっているため、オーバーホールを行い設備の長寿命化を図るもの。
- ・救助工作車購入負担金については、魚津消防署に平成17年から配備されている救助工作車が、すでに16年を経過していることで、補修部品の供給不能や老朽化による障害の発生等が懸念されることから、新たに救助工作車を購入するもの。救助工作車は稼働率が高いため、早めによりしっかりと更新したい。購入費用は約9,800万円だが、国・県の補助等と起債分を除いた一般財源分500万円余りを東部消防組合への負担金として計上する。

- ・児童手当実施円滑化事業（制度改正に伴うシステム改修）については、児童手当の制度改正に対応するため、児童手当システムを改修するもの。改修内容としては、令和4年度分から現況届の提出が原則廃止されることへの対応など。
- ・歴史民俗博物館事業については、吉田記念郷土館にある展示室の監視カメラが故障し、館内の監視ができない状態となっていることから、カメラ及び制御機器の更新作業を行うことと、老朽化が進む歴史民俗資料館の将来的な解体にあたり、事前に石綿の含有調査を行うもの。
- ・市制70周年記念事業・「魚津のさかな」発行については、令和4年度に予定している市制70周年に向けて、市制60周年の際に発行した「魚津のさかな」を一部改訂するほか、新たに「(仮) 魚津のさかなⅡ」を発行するもの。なお、魚津のさかなⅡについては魚津水族館のガイドブック的な要素で作成し、利用者に使ってもらいたい。
- ・自治体情報システム標準化・共通化対応事業は、国の計画では令和7年度までに標準準拠システムへ移行することとされており、市においても移行に向けて必要な作業に順次取り組む必要がある。令和3年度については、市民課で運用している住民記録システムについて、現行システム仕様と標準準拠システム仕様との比較調査を実施するもの。全額国の機関からの補助で実施する。
- ・新川学びの天神山森交流館不用品廃棄事業については、同交流館が令和4年度以降、民間事業者による施設の管理や利用者団体等による利活用が予定されることから、施設にある備品のうち、故障や地上デジタル化により不用となったものを廃棄処分するもの。
- ・サイクリストに優しい環境整備事業は、サイクリストが訪れやすい街を推進し、交流人口の増加に繋げるため環境整備を行うもの。本年5月に「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルコースに指定されたほか、9月には約35kmの市内周遊ルートが完成した。また2022年4月に開催予定である「富山湾岸サイクリング」のメイン会場（スタート・ゴール地点）を魚津市に誘致中である。今後、サイクリング利用者の増加が見込まれることから、サイクリングルート周辺の休憩ポイントとなるような施設に、持ち運びや維持管理が容易にできる地場産材を活用した木材サイクルラックを設置する。設置数は10カ所程度。令和4年1月中に設置施設を検討・選定し、春までに設置したい。

(2) 昨冬の大雪を踏まえ、市の道路除雪体制及び情報発信体制を強化しました

- ・道路除雪関係については、①従来から貸与している小型タイヤショベル11台に加えて、更に小回りの利く「ハンドガイド式ロータリー除雪機（手押し式）」を希望する11振興会（各1台）に貸与し、狭い市道等の除雪体制を強化した。②通常の除排雪時に利用している雪捨て場2か所に加えて、大雪発生時のみ活用する臨時雪捨て場を、新たに2か所（沿岸部、中山間部）確保した。なお、新たに確保した2か所は、道路除排雪用につき一般の方の利用はできない。③昨冬、市内のある地域で除雪車にトラブルが発生し、除雪がストップする事態が発生したため、予備の除雪車1台を確保した。④昨冬まで、通学路の早朝除雪を除雪機2台体制（延長8.0km）で行っており、未完了箇所については日中除雪（延長8.2km）を行っていたが、今冬からは、市管理の全ての通学路に係る歩道除雪路線を、除雪機4台体制による早朝除雪対応（延長16.2km）とし、朝の通学路を確保することとした。なお、県道については現在お願い中である。
- ・情報発信関係については、市ホームページに雪対策に関する特設ページを開設する。昨冬まで担当部署が個別に情報を掲載していたが、一元的に確認ができるよう、雪対策の特設ページを作成した。市道除雪による通行規制、公共サービスの休止等に関する最新情報がこちらのページから確認できる。また、地域住民に対する情報伝達体制の強化も行う。機械トラブル等により特定地域の除雪に大幅な遅れが生じる場合等には、NICE-TV画面上に表示されるテロップ等でお知らせする。また、従来からの自治会等の長への連絡に加え、自主防災組織等へも同様に連絡するなど、地域の情報網を活用しながら、様々な手段を用いて住民への情報伝達に努める。
- ・市の内部体制については、これまで無かった魚津市雪害対策本部会議の開催基準を明確化し、大雪への警戒や対応体制構築の迅速化、情報共有の円滑化を図る。具体的な開催基準は、①市内平野部で50cm超の降雪（降雪予報） ②県内で「顕著な大雪に関する情報」が発表された場合。なお①②は、11月に富山県が策定した「大雪タイムライン（行動計画）」に概ね準じた基準となっている。

(3) 「25歳の成人式」を開催します

- ・令和3年度に25歳になる市内の小中学校を卒業した者を対象に「25歳の成人式」を開催する。日時は12月30日（木）の12時～16時、会場はイベントレンタルスペース「海ブタ」（魚津市港町8-1）となっている。昨年も予定していたがコロナ禍により開催できなかった。今年度は7名の実行委員が7月から準備を進めてきた。式ではオリエンテーションやランチ会、ビンゴゲームを行う。アルコール類の提供は行わない。

(4) 「2021イルミラージュUOZU」の開催について

- ・今回で31回目になる。期間は令和3年12月3日（金）から令和4年2月28日（月）までで、点灯時間は17時から24時まで。医療従事者をはじめ、全ての方々への「感謝と応援」と新型コロナウイルスの終息を願い、イルミネーションを点灯する。電球の数は昨年と変わらないが、駅前ロータリー緑地帯のオブジェを増設する。点灯式ではアトラクションとして魚津第二こども園の年長児のうち20名程度によるハンドベル演奏等が行われる。なお、協賛企業社数は11月24日時点で130社となっており、コロナ禍もあり昨年の196社から減少している。

2. 質疑応答の内容

「コロナワクチンの3回目の接種」について

《記者からの質問》

3回目の接種は集団接種で行うのか。それとも個別接種で行うのか。また他市では1・2回目の接種をまだ受けていない人もこの機会に受けられるが、魚津市ではどうか。

《回答》（市長）

2回目の接種から8カ月が経過した人から3回目の接種を行うため、1・2回目の接種と同様にまず医療機関での個別接種から始まり、その後集団接種も始まることになると思う。1・2回目の接種を受けていない人については、魚津市でも接種できる予定。

「小・中学校ICT活用推進事業」について

《記者からの質問》

宿題や家庭学習で使用するということは、タブレット端末を毎日家に持って帰るのか。

《回答》（市長）

運用方法はまだ固まっていないが、持って帰ることは可能だが、毎日必ずということはないのではないか。まずはオンライン学習ができる環境を確実に作りたい。

「魚津水族館」について

《記者からの質問》

水族館の「波の水槽」の波を作る装置が故障しているが、それは修繕しないのか。「魚津のさかな」は図鑑形式とあるが、「富山のさかな」（H26発行）のようなものなのか。また「(仮) 魚津のさかなⅡ」はどのような内容となるのか。

《回答》（市長）

波を作る装置については、修繕できればそれに越したことはないが、水族館の運営のため緊急的に必要な修繕ではないので含めていない。「魚津のさかな」は「富山のさかな」のような大きい（A4）ものではなく、ハンドブックサイズ（A5）のものである。また、「（仮）魚津のさかなⅡ」は、水族館の施設や展示方法を解説する、魚津水族館を持ち帰ってもらイメージのガイドブック（A4）となる予定。